

海上運送法に基づく安全情報の公表 2024年度分

【事業者情報】

事業者名	株式会社菅原組
ホームページ	https://www.sugawaragumi.co.jp/
事業届出年度	2022年度
事業種別	一般不定期航路事業
営業所数	3
営業所所在地	本社：函館市 支店：松前町、札幌市
過去5年間の事故件数	0
安全統括管理者	2022年12月9日選任 工務部参与
運航管理者	2022年12月9日選任 工務部参与

【船舶情報】

・運航船舶数 10 隻

船名		第十八すがわら丸	すがわら丸	第十すがわら丸
総トン数		19	19	19
旅客定員		6	3	9
救命設備 搭載数	救命胴衣	6	3	9
	救命いかだ	0	0	0
	救命浮器	2	2	2
搭載している無線設備		携帯電話	携帯電話	携帯電話
		衛星電話	衛星電話	衛星電話
		業務用無線	業務用無線	業務用無線
船舶検査証書の 交付年月日		2023/11/22	2025/1/21	2023/1/18

船名		第二十菅栄丸	SWG	第十二金洋丸
総トン数		19	4.9	4.95
旅客定員		4	11	8
救命設備 搭載数	救命胴衣	4	11	8
	救命いかだ	0	0	0
	救命浮器	2	1	0
搭載している無線設備		携帯電話	携帯電話	携帯電話
		衛星電話	—	—
		業務用無線	業務用無線	業務用無線
船舶検査証書の 交付年月日		2021/7/12	2022/12/1	2023/5/23

船名		第三大吉丸	第十大吉丸	No11 宝栄丸
総トン数		5 t 未満	1	1.1
旅客定員		4	7	6
救命設備 搭載数	救命胴衣	4	7	6
	救命いかだ	0	0	0
	救命浮器	0	0	0
搭載している無線設備		携帯電話	携帯電話	携帯電話
		—	—	—
		—	—	—
船舶検査証書の 交付年月日		2023/6/8	2021/9/16	2024/4/24

船名		No10 宝栄丸
総トン数		5 t 未満
旅客定員		10
救命設備 搭載数	救命胴衣	10
	救命いかだ	0
	救命浮器	0
搭載している無線設備		携帯電話
		—
		—
船舶検査証書の 交付年月日		2023/5/17

輸送の安全に関する基本的な方針

海上輸送の安全に関する基本的な方針は、海上輸送の安全確保のため、人命・財産・環境を守るために策定する。国土交通省のガイドラインや海上運送法に基づき、安全確保を最優先事項として位置づけ、組織全体で継続的に安全性を向上させる。

基本的な考え方

- 社長や経営トップが主導的な役割を果たし、輸送の安全が事業の根幹であることを深く認識する。
- 全社員に安全意識を徹底させ、組織全体で安全性向上に取り組む。

基本理念

- 人命の安全確保：乗客・乗員の命を最優先に守る。
- 船舶の安全運航：事故防止と安定した運航体制の構築。
- 環境保護：海洋汚染の防止と持続可能な海上輸送の推進。

PDCA サイクルの実践

- 計画（Plan）：安全目標の設定（例：事故ゼロ、物損事故の削減など）
- 実行（Do）：教育・研修、安全装備の導入、健康管理など
- 確認（Check）：内部監査や日常点検
- 改善（Act）：是正措置や予防措置の実施、目標の見直し

組織体制と責任者の役割

- 安全統括管理者：経営トップが任命し、安全管理全体を統括
- 運航管理者：船舶の運航に関する業務を管理し、法令遵守を徹底
- 船長：船上の最高責任者として、運航の可否判断や緊急対応を担う

教育・訓練の充実

- 船員に対する定期的な安全教育（例：事故対応訓練、法令理解）
- 新人・高齢者・経験者に応じた個別研修の実施

輸送の安全に関する重点施策及びその達成状況（安全重点施策）

海上輸送の安全に関する重点施策及びその達成状況は、船舶運航事業者が毎年度策定・実施する安全向上のための具体的な取り組みと、その成果を評価・公表します。

これらの情報を年度終了後 100 日以内に公表・報告します。

重点施策（令和 6 年度）

施策内容	目標	達成状況
気象悪化時の運航判断の適正化	事故ゼロ	達成
航行基準に沿った運航の徹底	事故ゼロ	達成
旅客への遵守事項の周知徹底	負傷者ゼロ	達成
ヒューマンエラーの防止	声かけ・確認動作の徹底	達成
ヒヤリハット事例の収集・共有	社内外の事例活用	達成

※達成状況の評価方法

- 定量評価：事故件数、ヒヤリハット報告数、研修参加率など
- 定性評価：現場の声、改善提案、安全風土の醸成度
- 内部監査・外部点検：海上保安庁や運輸局による監査も含む